

年度冬「V-FORCE プロアドバイザー」 JXTGエネルギー/JXトレーディング



全農長野県本部情報／グリーン レーダー Vol.467

Contents

平成30年度のスタートにあたって

A-Policy **重点事業方針**

・セレモニー事業「お布団供養」の取組み

A-Reports

・農業機械セルフメンテナンス講習会	3	・平成30年度 機構・分掌・要員について	8
・V-FORCEプロアドバイザーを新たに13名輩出	4	・平成30年度 全農長野県本部機構図	9
・第5回 2018年カーパー技術コンテスト協同経営SSから4名出場	4	・花束を持って街中を歩こう	10
・JA松本ハイランド山辺支所が松本市景観賞受賞	5	・JA全農長野の事業現況	10
・東信地区農業機械中古機フェア	5	・4月の動き	10
・JA長野厚生連に福祉車両を寄贈	6	・4月のラジオ番組表	10
・都内で長野県産農産物をPR	6	・編集後記	10
・焼肉を食べながら交流	7		
・平成29年度 長野県ホルスタイン 名誉原種牛認定証書授与式	7		

平成30年度のスタートにあたって

全農長野県本部 県本部長 小林哲男

花の便りも届きはじめ、畑の作業も本格化してきました。県本部の30年度事業もスタートしたところですが、私たちも新たな気持ちで農家組合員の営農と生活への貢献とJA経済事業の収支確立に取り組んでまいります。会員皆様の引き続きのご支援をお願い申し上げます。

県本部の29年度決算は、供給販売高で計画対比99%となる2、688億円を見込んでいます。また税引前当期利益は概ね計画並みの3億6千万円を確保できそうです。昨年は電害や台風、また夏の天候不順など気象の影響を強く受けてきましたが、会員の皆様のご支援により計画に沿った事業ができましたことに改めて感謝するところです。

スタートした平成30年度は大きな

な変化の始まりの年でもあります。米は「行政による生産数量目標の配分」をせず「国が策定する需給見通し等を踏まえ」生産者や団体が需要に応じた生産を行うこととして、米の直接支払交付金も廃止されました。一方でTPP11が3月に調印され早ければ年内に発効するとも言われています。農畜産物の多くの関税引下げの影響は発効前から前倒しで現れる可能性があります。農協組織にとっては、改革集中期間の最終の年となることから、農産物の販売や生産資材の調達についての具体的な改革成果を示していくことが求められています。

今年の冬は低温が続く鍋物やおでんを楽しみたいところでしたが、材料となる大根・白菜・ネギなどの野菜が例年より大幅に高く、た

びたび報道でも取り上げられてきました。昨年の10月の台風と11月の低温が影響したことはありますが、農家の高齢化で大型重量野菜が敬遠されたことや、災害を軽減できるハウス栽培のような施設化に適さない品目であるなど構造的な課題もありそうです。労働力確保や負担の大きい収穫作業の機械化、災害に強い技術や品種の導入などをすすめ、消費者の期待に応えていくことは国内共通の課題と言えます。

県本部の30年度事業計画は2、744億円としました。長野県本部は中期計画の最終年度としての達成を目指していきますが、昨年9月に策定しました自己改革強化策の具体化も同時に進めています。実需への直接営業では米では約90%まで比率を高め、青果物に

おいても40%を目標としていきます。輸出では13億円を目指し、米で300トン、ブドウで10億円の目標としました。生産資材では工場や県本部倉庫からの肥料農薬の直送によるコスト削減やレンタル農機の拡大など、コスト引下げに向けた選択肢を拡大していきます。事業計画の達成に向けて職員一同粘り強く努力していく所存です。会員JAの皆様のますますのご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成30年4月1日

県本部長 小林哲男



生活課
(株)長野エーコープ
サプライ

セレモニー事業「お布団供養」の取り組み

(株)長野エーコープサプライでは、平成29年10月より新たに「お布団供養」の取組みを開始しました。北信地区の共同運営JA（JAグリーン長野、JAながの）とJA大北からスタートし、現在は共同運営の全JAで取り組んでいます。

この事業は、虹のホールをご利用いただいた多くの方からの「故人を安置した布団はどうしたらよいのでしょうか」という声から生まれました。大切な方が最期に使用した布団



合同供養の祭壇（両側がお預かりした布団）

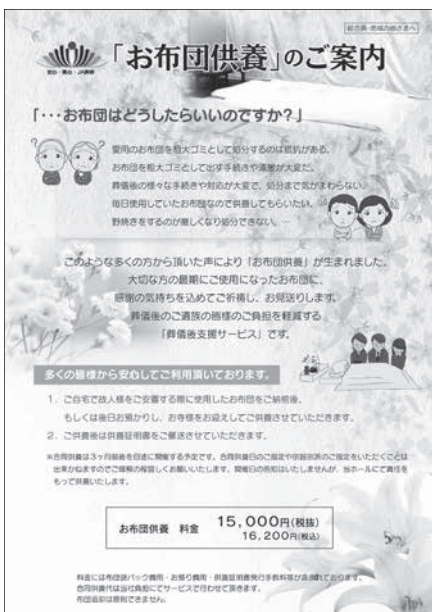


合同供養の様子

をお預かりし、感謝の気持ちを含めてご祈祷してお見送りをする「葬儀後支援サービス」です。お預かりした布団は、お寺様をお迎えして虹のホールで「合同供養」し、「供養証明書」をお客様にお届け（郵送）します。合同供養は3か月に一度程度の不定期開催のため、お客様の代わりにスタッフが参列し、責任を持って供養します。

取組みを始めたこの半年間で、予定を上回る3回の合同供養を行いました。中にはお布団供養を知り、自宅の押入れに10年以上仕舞い込んでいた故人の布団を持ってきた方もいらつしやう、「お役に立ててうれしい」というのがスタッフの率直な感想です。

葬祭事業は葬儀の小規模化や二丁の多様化、さらに斎場（ホール）



を持たない業者の増加により、事業環境は目まぐるしく変化しています。「葬儀は今までと同じでいい」「葬儀は業者に任せておけばいい」という考え方は既に過去の話。今まで以上に利用者の声に応える事業でならなければなりません。「お布団供養」はまさにその声に応えるためにスタートしました。

これからも組合員・地域の皆様に「選んでもらえる事業」「安心して利用してもらえる事業」を目指し、取り組んでまいります。

農機維持コストの削減と 農繁期中のトラブル低減を目指す 「農業機械セルフメンテナンส์講習会」



全農長野県本部農業機械課は2月20日(火)、全農長野県本部営農研修センター（安曇野市堀金）で、JAあづみの協力をいただき管内生産者（有明営農組合、富田生産組合）を対象に「農業機械セルフメンテナンส์講習会」を開催しました。この講習会は、農業機械の使用者自らが機械メンテナンスを行なうことで、機械維持コストの削減や農繁期中のトラブル低減に繋げることを目的とし、全農自己改革でも掲げた取り組みです。

講習会は、当県本部の農業機械整備センターから安全作業と機械格納の注意点を説明した後、協力メーカー技術者に60馬力トラクターと8条植田植機の実機を前に点検・整備のポイントを講義していた



いただきました。受講された13名の参加者からは、「各種のオイル交換や田植機の爪調整・交換等、基礎的な事項を習得でき、改めてメンテナンスの重要性を認識した」「自分でメンテナンスに挑戦する意欲が高まった」「機械の耐用年数を長く保つことができそう」等、好評価の感想を多くいただきました。また、今後も対象機種を増やし継続的な開催を望む意見が出されました。

農業機械課は、今回の講習会を活かして開催回数、対象生産者の拡大に取り組み、県下JAを通じて生産者によるセルフメンテナンスを促進することで、農機コスト低減をすすめます。

V・FORCEプロアドバイザーを 新たに13名輩出

協同経営SSから13名のV・FORCE（バッテリー）プロアドバイザーが誕生しました。

JXトレーディングが定めるアドバイザー認定規定（12～1月バッテリー販売個人30個）を13名が達成、アルカディア市ヶ谷 穂高の間（東京都千代田区）にて行われた認定式に、2名の協同経営SS代表者が出席しました。

長野県内にて13名のアドバイザー輩出は過去最多で、現在、協同経営SSには26名のV・FORCEプロアドバイザーが在籍しています。

認定式では協同経営SSの取り組みが評価され、成功事例発表の大会もいただき、JAみなみ信州アイロードあなんSSの小西宣子サブマネージャーがアイロードあなんのバッテリー販売について、事前準備や目標達成に向けた取り組みなど、堂々と発表しました。



成功事例を発表する小西サブマネージャー



今回新たに認定されたプロアドバイザー

第5回2018年 キーパー技術コンテスト 協同経営SSから4名出場

キーパー技術(株)の全国NO.1施工者を決める、熱きキーパー技術コンテストが始まりました。

昨年は全国3,000名以上のコーティング技術者が参加し、熱戦を繰り広げたこの大会。今年も予選会、県チャンピオン決定戦を通過し、全日本チャンピオン決定戦（4月25・26日）での優勝を勝ち取るべく、協同経営SSから4名の選手が出場しています。

日頃、スマイルステーションで「高い品質のキーパーコーティングを提供し、より組合員様（お客様）に喜んでいただくために」をモットーに、技術力を磨いてきました。いよいよ、その成果を披露する最高のステージへ立つ事となります。

全国の強者たちを打ち負かし、長野県で、そして協同経営SSで初の全国NO.1施工者という称号（名誉）を持ち帰ってきてください。

「4名の出場者紹介」

- ① JAながの 志賀高原SS 青木達也マネージャー
- ② JA上伊那 グリーンロード西春近SS 新井圭マネージャー
- ③ JAグリーン長野 南長野公園前セルフSS 宮木竜二サブマネージャー
- ④ JA上伊那 東部中央SS 唐澤一紀サブマネージャー



予選会で奮闘する青木マネージャー

J A松本ハイランド山辺支所が 松本市景観賞受賞

松本市主催による第29回松本市景観賞に於いて、平成29年5月に完成したJ A松本ハイランド山辺支所が奨励賞となり、建築主の松本ハイランド農業協同組合、設計者の全農長野一級建築士事務所、施工者の株式会社アスピアが受賞しました。

選考委員会の会長を務められた石井信行山梨大学大学院准教授からの講評では「自然豊かな地域の中で多くの人が集まって来るJ A支所が、地域の好ましいランドマーク的な建物となっている。また、前後の高さに変化を付けてボリューム感を減らしたり、外壁のタイルの色を上手く使って地域の特産である葡萄を表現している。緑の植栽も配置されており、全体的に統一感のとれた建物である」との評価をいただきました。

山辺支所は松本市内から犀温泉・美ヶ原高原へ向かう県道沿いに面しており、市街化調整区域内の敷地であるため、設計時点から景観に配慮した「自然と調和した、地域農業のシンボル」となるよう心掛けて設計しました。

全農長野県本部施設住宅課では引き続きJ A・地域組合員の要望に沿った施設づくりに取り組んでいきます。



東信地区農業機械中古機フェア

「トラクターや田植え機、耕運機など100点以上を展示」

長野県協生産資材事業推進協議会農業機械専門部会東信支部（支部長／J A佐久浅間 佐久間農機資材部長）は3月3日（土）、小諸市のJ A佐久浅間基幹農機センターで「東信地区農業機械中古機フェア」を開催しました。中古農機の流通促進と有効利用を図り農機コストを削減することを目的に、今年で34回目の開催です。

各J Aによる整備・点検を済ませたトラクターや田植え機、耕運機など100点以上を展示し、約200人が来場されました。中にはお目当ての機械を探そうと、夜明け前から並んだ来場者もいました。購入した中古機は各J Aの農機センターでアフターサービスを受けられることが好評です。成約金額は目標の1000万円を超え、盛大なフェアとなりました。



展示農機を品定めする来場者



成約の申し込み



開場前から大勢が並びました

J A長野厚生連に福祉車両を寄贈

「訪問介護に役立てて」

全農長野県本部は訪問介護に役立ててもらおうと、J A長野厚生連に福祉車両7台を寄贈しました。3月6日（火）にJ A長野県ビルで行った贈呈式で、当県本部の小林哲男県本部長が「我々は農業を支え、厚生連病院は農家の健康を支える両輪の輪として、福祉車両を贈呈します」とあいさつし、目録とゴールデンキーを長野厚生連の社浦康三代表理事理事長に手渡すと、贈呈を受けた社浦理事長は「訪問介護になくてはならない車両をありがとございます。毎日の業務の中で有効に使わせていただきます」と感謝しました。



小林県本部長からゴールデンキーを受け取る社浦理事長（右）

配備先	
北アルプス医療センター あづみ病院	1台
長野松代総合病院	1台
南長野医療センター 新町病院	2台
北信総合病院	1台
南長野医療センター 篠ノ井病院	1台
鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 三才山病院	1台



寄贈車のスバルプレオプラス

都内で長野県産農産物をPR

「ふるさとの食につぼんの食」全国フェスティバル」

J A長野県農産物PR協議会は3月10日（土）と11日（日）の両日、NHK放送センターと代々木公園（東京・渋谷区）で開催された「ふるさとの食につぼんの食」全国フェスティバルに出展し、リンゴ、きのこ、長イモ、加工品をPR販売しました。

例年5万人が来場するこのイベントは、全国各地から集まる特産品を目当てに、多くの人が集まります。同協議会のブースでは、リンゴ（秋映、シナノスイート、シナノゴールド）、きのこ（茶えのきたけ、やまなめ）、ナガイモ、なめたけ、りんごジュース、プルーンジューズを販売しました。リンゴは状態が良く食味も良好で、秋映の小玉サイズ90kgが4時間で完売しました。3種類を食べ比べて好みの味を探す方も多く、「3種類全部ちょうだい」というお客様もいました。ナガイモは浅漬けを試食に提供したところ、「ナガイモに浅漬けの素を使ったこ



とが無い」というお客様も多かったが、年齢問わず「おいしい」と好評で、食べ方の提案にもなりました。やまなめや茶えのきたけも食べ方を聞かれることが多く、レシピを提案しながらの販売が必要なることを改めて感じました。

焼肉を食べながら交流

『信州の畜産・酪農家との「焼コン」パーティー2018』

長野県生乳生産販売委員会青年部会、JA長野県・信州肉牛生産販売協議会、JA長野県・信州ポーク生産販売協議会は、2月17日(土)に松本市のNAMSAN(南山)松本駅前店で、「焼コン」信州の畜産・酪農家との焼コンパーティー2018を開催しました。

このパーティーは、長野県内の若手畜産酪農家と畜産酪農に興味・関心があり焼肉が好きな女性が集まり、イベントを通じて畜産酪農への理解醸成や、意見交換等を行うことで男女間の交流を深めることが目的です。

パーティーには、男女共に11名ずつ合計で22名のご参加をいただき、焼肉交流タイムでは、自己紹介などで参加者同士の活発な会話が見られ、にぎやかな雰囲気の中で交流を深めていただきました。最後には、連絡先等を記入したメッセージカードを男性参加者から意中の女性参加者に手渡して連絡先の交換を行い、プレゼント交換をしました。

今後も、このような若手生産者の出会いの場を提供していきます。



平成29年度 長野県ホルスタイン名譽原種牛認定証書授与式

『29年度は5頭が名譽原種牛に認定』

3月9日(金)、長野県庁にて平成29年度長野県ホルスタイン名譽原種牛認定証書授与式が行われ、認定された5頭の所有者4名が北原富裕農政部長より認定証書を授与されました。

今回認定された牛は、新海益二郎氏(JA長野八ヶ岳)所有のラッキーマーシユBアウトバック号とラッキーマーシユメガシャロル号、小林正春氏(JA長野八ヶ岳)所有のエムケーソンシヨット号、五味英介氏(JA信州諏訪)所有のサミットリージョハナアルティール号、前田勉氏(JAながの)所有のマエダファームユースメルヘン号です。

この認定制度は長野県独自の制度で、昭和38年から55年間続く歴史と格式ある制度です。これまで認定された名譽原種牛は、今回の5頭を加えても長い歴史の中で158頭しかいません。名譽原種牛に認定されるには、本牛とその娘牛2頭以上が原種牛要件①体型得点初産牛80点以上、2産牛以上82点以上、②乳量初産牛7,000kg以上、2産牛以上9,000kg以上、③

乳脂量指数250以上、④乳量指数2000以上を満たすことが必要です。このように個体能力の高さはもちろんですが、高い遺伝能力が後代に受け継がなければ認定されることはありません。

高齢化の進行で生産者戸数は減少していますが、一方でメガファーム、ギガファームといった数千頭を飼養する大規模農場が続々と誕生しています。しかし家族経営が中心の長野県では、名譽原種牛のように長命連産で、生涯乳量の高い牛群による生産基盤の維持を目指しており、酪農家、農協と共に引き続き生産性向上に努めていきます。



平成30年度 機構・分掌・要員について

基本的な考え方

1. 中期事業ビジョン(平成28～30年度)に連動する中期事業計画(平成28～30年度)並びに29年9月に策定した「自己改革強化策」に基づき、JA・県域および子会社と統一した戦略のもと、効率的・一体的事業運営体制による県本部機能の発揮および農業所得の増大と地域の活性化に取組む機構・分掌としJA自己改革を加速化する。
2. 営農指導、生産(生産販売、生産購買、畜産酪農)事業においては、長野県農業の生産基盤強化とブランド確立、営業力強化による顧客確保、仕入れ強化・生産流通コスト削減による生産者手取りの最大化を目指す体制を構築する。
生活事業においては、事業分野の選択と集中による競争力強化をはかり、ライフラインの充実を目指す体制を構築する。
3. 県本部グループのガバナンス体制・コンプライアンス態勢の再構築、県本部総合経営管理制の堅持により、部門別事業競争力強化と経営基盤の確立をはかり、県域結集の拡大と成果を得る県本部の運営を行なう。
4. 事業・経営環境の変化に対応する業務体制を確立し、専門的業務の継続性および事業の効率性の維持強化をはかり、要員は多様な雇用形態による効率的な体制とする。なお、継続雇用制度導入に伴う再雇用職員は、キャリアを踏まえた配置を行なうものとする。

人事異動

全農長野県本部

(平成30年3月2日付)

▽長野県本部長付 (副本部長) 真島茂夫
▽副本部長(管理・畜酪・生活担当) (副本部長) 湯本 豊

〈部長級〉

▽総合企画部長 (生産販売部副部長) 岡村達雄
▽東信事業所長 (東京販売事務所) 金井久雄
▽南信事業所長 (生活部副部長) 武井修一
▽中信事業所生産販売課 (南信事業所) 武井浩三
▽総合企画部付 (同部) 松田正隆
▽総合企画部付 (東信事業所) 竹内 聡
▽畜産酪農部付[出向先変更] (同部付) 依田秀樹
▽畜産酪農部付 (総合企画部) 内田信一
▽生活部付 (総合企画部) 山崎邦雄

〈副部長級〉

▽管理部副部長兼経理課長 (生活部付) 宮本浩信
▽生産販売部副部長兼きのこと課長 (生活部付) 宮本浩信
▽生産購買部副部長兼包装資材課長 (管理部人事課) 小林正明
▽生産購買部副部長兼生産資材課長 (同部) 高木昭彦
▽生活部副部長兼燃料・ホームエネルギー課長 (同部) 宮澤秀実
▽東信事業所次長兼生産販売課長 (北信事業所) 池田洋一
▽東信事業所次長兼生産販売課長 (名古屋販売事務所) 豊森俊行
▽東信事業所次長兼営農資材課長 (同部) 島田忠之

▽南信事業所次長兼生産販売課長 (同部) 那須裕史

▽中信事業所次長兼生産販売課長 (生産販売部副部長) 中田広彦
▽中信事業所次長兼営農資材課長 (同部) 森田陽一

▽東京販売事務所 (生産販売部) 井出光俊
▽管理部付 (南信事業所) 村山 勝
▽生産販売部付 (東信事業所) 吉村智之

▽畜産酪農部付 (同部) 齋藤千秋
▽生活部付 (東信事業所) 池田伸一

〈課長級〉

▽管理部人事課長 (同部) 浦野真一
▽生産販売部野菜花き課長 (南信事業所) 北原直俊
▽生産販売部営業課長 (同部) 根津彰寛
▽生産販売部営業課 (中信事業所) 中田伸一
▽畜産酪農部酪農課長 (同部) 柳沢光治
▽東信事業所生活課長 (生活部) 佐藤 剛
▽南信事業所営農資材課長 (北信事業所) 中村知実
▽北信事業所営農資材課長 (総合企画部) 竹村和真
▽北信事業所生活課長 (管理部) 竹内範満
▽名古屋販売事務所次長 (生産販売部) 滝澤浩治
▽福岡販売事務所 (JA長野県営農センター) 三澤謙一
▽全農業務監査部内部監査課 (福岡販売事務所) 武井芳郎



（左から）南信ハウスカーネーション組合の上条正明組合長、
髙田武司副本部長、JA上伊那の御子柴茂樹組合長

（表紙右上の写真 中島理恵副知事を表敬訪問）

**花束を持って
街中を歩く**
〜信州フラワーウォーク〜

長野県産の花きで作った花束を持って街中を歩くという「信州フラワーウォークin長野市」が3月14日(水)に行われました。

JA上伊那のアルストロメリアと南信ハウスカーネーション組合のカネーションを使い、花束を製作し、南信管内・JA長野県ビル・長野県庁などで500束を予約販売しました。

4月の動き▶

総務広報課	4/1(日)	松本山雅FCホームゲームイベント (ベンチコート贈呈) アルウィン(松本市)
人 事 課	4/2(月)	新採用職員入会式 JA長野県ビル
果 実 課	4/11(水)～ 13(金)	菜デリカ・弁当・中食・外食・給食・配食ファベックス2018 東京ビッグサイト
き の こ 課	4/21(土)～ 22(日)	ナガノきのこ大祭2018 長野市ビッグハット

4月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
4/3(火) 16:10	SBC ラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	「長野県ブラック& ホワイトショー」の様子
4/10(火) 16:10	SBC ラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	こどもフェスタの様子
4/17(火) 16:10	SBC ラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食レシピ紹介
4/24(火) 16:10	SBC ラジオ	情報わんさかGO!GO! ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ

JA全農長野の事業現況▶

平成29年度2月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実 績	計画比	前年比
米	穀	17,495	102	112
果	実	34,292	97	97
野 菜 花 き		59,415	91	86
野 菜 種 苗 セ ン タ ー		188	101	99
ぎ の こ		19,531	88	96
営 業		13,177	91	96
生 産 販 売 部 計		144,099	93	93
包 装 資 材		8,353	99	99
生 産 資 材		11,069	101	99
農 業 機 械		6,806	103	105
施 設 住 宅		4,103	100	63
生 産 購 買 部 計		30,330	101	93
畜 産		12,878	108	98
三 岳 牧 場		313	115	112
SPF繁 殖 セ ン タ ー		251	97	98
酪 農		17,376	106	97
ハ ケ 岳 牧 場		278	97	97
畜 産 酪 農 部 計		31,096	107	98
燃 料 ・ ホ ー ム エ ネ ル ギ ー		23,892	117	113
S S 協 同 経 営		9,894	120	112
生 活		11,545	102	97
生 活 部 計		45,332	113	108
長 野 県 本 部 計		250,857	99	96

(内部販売高含む)

編集後記

花粉症の本格的なシーズンになっています。目が痒くて辛いです。

今年のスギ・ヒノキ花粉の飛散量は昨年より多いそうです。関東などは昨シーズンの2倍以上だとか。甲信越はそこまでではなくても、かなり多いと報道されています。

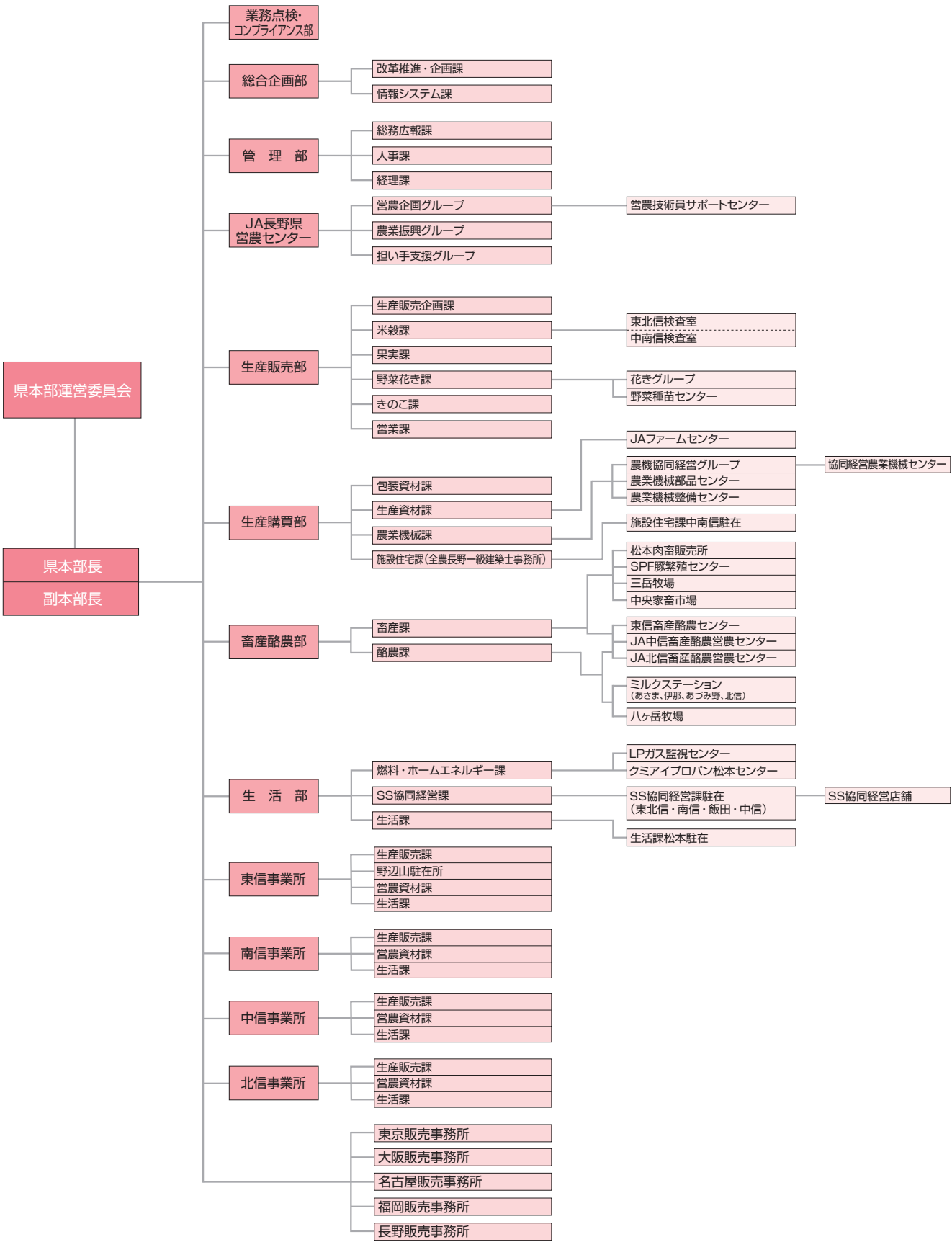
2016年のある統計では、47%の方が「自分は花粉症だ」と言い、それを100とすると、3月～5月の発症時期が95%。春先から悩む人がほとんどのようです。とっている対策としては「マスク」とか「うがい・手洗い」、ひどい人は「市販薬・処方箋」が主。新しいところでは、肌・髪用スプレーや鼻洗浄などは昨年ヒットしていました。

また花粉症対策として取り入れた食材では、圧倒的1位がヨーグルト類(5割近くが実行しています)。続いて甜茶、乳酸菌飲料など。(玉ねぎも効果あるらしいです)

私の家でも、自家製のヨーグルトを作り食べています。・花粉症に対する効果は今のところ？ですが。皆さんもいろいろな工夫をしてみて花粉の季節をのりきりしましょう。

(K)

平成30年度 全農長野県本部機構図



小平奈緒は、「信州」を食べて育ちました。

スピードスケート
小平奈緒 選手
所属:相澤病院(松本市)



長野県の美味しい作物は
みつやま
「三ツ山マーク」をつけて
出荷しています。

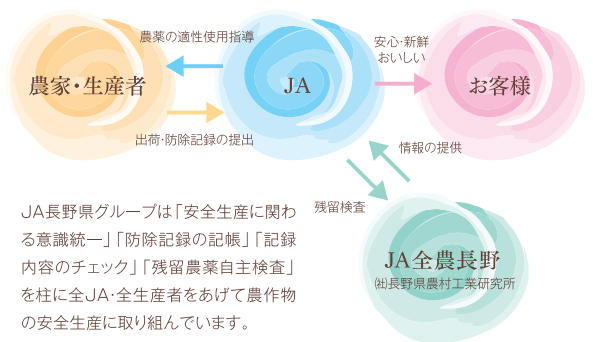
JA全農長野は、信頼される産地を目指し、
安心安全な農産物の供給に努めています。

産地産直で信州を食べよう!!



インターネット通販
JAタウン 僕はおいしい応援団

『安心・新鮮・おいしさ』を
お届けできるワケ



JA長野県グループは「安全生産に関わる意識統一」「防除記録の記載」「記録内容のチェック」「残留農薬自主検査」を柱に全JA・全生産者をあげて農作物の安全生産に取り組んでいます。



ながの★ゲンキ
みらい★ミカタ
JA全農長野



〒380-8614 長野県長野市大字南長野北石堂町1177番地3

信州力
JA全農長野農産物PRキャラクター



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

